

2002/06

三二大通 だより

初夏の記憶

日ざしの眩しい季節になりまして。通勤途上、背中に浴びる陽が心地よく、つい口笛のひとつも吹きたくなります。

記憶の回路は不思議なもので、匂いや視覚、音など様々なツールを使い、思い出を蘇らせてます。背中に感じる陽のぬくもりが、ふと、過去のシーンを連れてきました。

おかつば頭で地面にしゃがみ込み、夢中でシロツメクサを摘んでいた初夏の一日。あの日、いつもつきまとっていた弟はどこにいたのでしょうか。友だちの声も、車の音も聞こえない。ただ、背中がほかほか暖かく、クローバーはやわらかく、あごに当たるのは、肉のついていない、かたいひざ頭。静寂と光の中に、幼く、あてなく、幸せな私がいきました。

今朝も、三二大通りの茂りはじめた若葉の下を、近所の保育所の子ども達がトコトコ、わいわい歩いていきました。たくさん花をみて、たくさん葉っぱの匂いを嗅いで、たくさん幹をさわって、たくさん陽を浴びてね。いつか思い出すその日のために。

イル・ポステイノ
大谷 薫
T & F : 272-7277

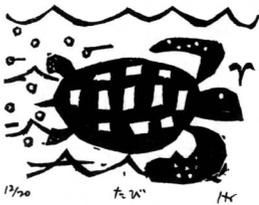
2002/07

三二大通 だより

散歩の風景

雪景色の中、そして桜の頃、毎日、赤ちゃんを抱いて散歩する男性がいました。いつも同じリズムで店の前を通り過ぎていきます。半袖姿がめだつある日のこと、赤ちゃんの手を引かれ、よちよち歩いているではありませんか。「歩いた！」わがことのように感動した私はガラス越し、親子に微笑みかけ、わけもなく、軽く会釈しました。

そして、この喜びは隣美容室でも共有されていたのでした。その光景を見た店長さんが「歩いてますよ！」と感嘆の声をあげ、何も知らないお客さんをキョトンとさせたりつづです。



町中で出会う他人同士は「儀礼的無関心」をよそおい、言葉を交わすこともありません。でも、三二大通の木漏れ陽の中、小さな姿が歩き始めると、見守るおとなたちには会話が生まれました。

イル・ポステイノ
大谷 薫
T & F : 272-7277

2002/08

三二大通 だより

犬のココロ

伸び始めた夏草の間を毎日いろいろな犬が通っています。掃除機のように鼻先を芝生にもぐらせて進むビートル。花のおいをかきながらフフ飛ぶように歩くパピヨン。早回しのフィルムよろしく回転するテリアの足。そして、風をつれて歩く白毛のコリー。

その三二大通に面するわが店の前には犬つなぎ



のバーがあります。大好きな夫が作りました。ここによく繋がるのは、シーズー犬、M。眼光鋭く、鳴き声も音量豊かですが、齡十一を越え、いささか無理のきかない体です。きれいにシヤンプーされた毛に、水色のリボンなど結わえられ、おとなしくご主人のお茶が終わるのを待っています。

目を閉じて、Mは何を思っているのでしょうか。ご主人と暮らしてきた長い月日のこと、あるいは、疾走する夢にひとりごちているのかも知れません。

イル・ポステイノ
大谷 薫
T & F : 272-7277
北4西14

2002/09

三二大通 だより

迷える小地図路

俗に、方向音痴と言われる人がいます。何を隠そう、私もそのひとり。地下鉄に乗るつもりで、18丁目駅の4番出口から入り、5番出口から地上に出てしまった、などその手のエピソードには事欠きません。地図に頼るまでもない近距離ほどアプナイのです。

ここに登場する三二大通は、北四条通り西十一丁目と十七丁目の別名で、迷いたくても迷えないまっすぐの道



13/20 家

です。中央に何とも魅力的な緑道、その両側が東西それぞれ一方通行路。スタスタ歩けば10分ほどの行程に、大小の木々、とりどりの花、形も素材も違うベンチなど小さな変化が織り込まれ、格好の散歩道となつています。

この三二大通を地図にしてみたい。例えば実のなる木の場所、午後八時に月の見える位置、犬の散歩ルート：日々の発見を書き込んだオリジナル地図。迷える私にも描ける気がするのですが。

イル・ポステイノ
大谷 薫
北4西14 ☎ : 272-7277

2002/10

三二大通 だより

帰り道

金曜日、午後五時。少女が、青年が、自転車に乗って通り過ぎていきます。秋の夕日を背中に浴びてペダルをこぐ姿に、店内のハーモニカの音楽が重なって、幸せな映画のひとつコマのようです。夕闇がその背中を追って広がります。

独り住まいのある人は、この時期のこの時間が一番いやだと、マンシヨンの窓の下に走る電車を見送り続けます。もう一本行ったら窓を閉めよう「もう一本」あと一本「気がつくあたりは真つ暗。電車の窓がことさら眩しく光ります。



三二大通にもオレンジの街灯がとまり、虫の音が冴えわたります。木々はひっそり佇んで家路につく人々を見守っているのでしょうか。やがて輝く頭上の月が、今日の喧騒も、しくじりも、やわらかい光で洗い流してくれるようです。

帰り道があることは幸せなことです。たぶん。

イル・ポステイノ
大谷 薫
北4西14 ☎ : 272-7277